

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	06	男女共同参画推進費
大	事	業	051	男女共同参画推進事業	中	事	業	01	男女共同参画推進事業
小	事	業	01	男女共同参画推進事業	02	女性活躍推進事業	他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	3	女性の活躍推進		
	施策	3-2	男性の家事・育児への参画の促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法			
根拠例規	有	坂井市男女共同参画推進条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市男女共同参画推進計画			

2.事業の目的・概要

◆男女共同参画推進事業

【事業の目的】
男女が性別に関わりなくあらゆる分野で個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修会の開催、地域などへの推進啓発活動に取り組み、市民への意識の醸成を図るなど、男女共同参画社会の実現を目指す。

【事業の概要】

- 報酬・報償費等 審議会委員報酬、講師謝礼、推進委員報償費 433 千円
- 需用費等 特別旅費、消耗品、借上料、負担金等 556 千円
- 補助金 さかい男女共同参画ネットワーク補助金 500 千円

◆女性活躍推進事業

【事業の目的】
働きやすい職場と女性の力が最大限に発揮できる社会の実現を目指して、市内企業で働く女性リーダーや女性農業者などを応援・支援する。また、仕事と家庭の両立に対する上司・同僚の理解を進め、すべての人がともに働きやすい職場環境づくりを促進するために、市内企業のイクボス推進・普及を図る。

【事業の概要】

- ①女性リーダー養成講座「学び女史プログラム」
 - 委託料等 女性リーダー養成講座委託料 他 1,206 千円
- ②イクボス推進事業（イクボス推進企業ネットワーク、イクボスアドバイザー・講師派遣）
 - 報償費等 協力者謝礼 他 233 千円
 - 委託料 イクボス推進事業委託料 2,600 千円
- ③農業女史プログラム
 - 報償費等 講師謝礼 他 277 千円
- ④輝く女性応援事業
 - 需用費 応援シート印刷費 86 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画啓発講座 ■男女共同参画啓発（図画、ポスター、川柳募集）
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	5,891	7,590	3,790	△ 1,699
	人件費	21,392	21,722	15,574	△ 330
	総事業費	27,283	29,312	19,364	△ 2,029
人員	正職員	3.20 人	3.10 人	2.32 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	3.20 人	3.10 人	2.32 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	2,195	3,268	607	△ 1,073
	その他特定財源	0	0	1,124	0
	一般財源	25,088	26,044	17,633	△ 956

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	男女共同参画出前講座・活動数	件	目標	20	20	20	30	30
			実績		7	15	13	18
		達成率(%)	0.0	35.0	75.0	43.3	60.0	
指標の説明		推進委員による出前講座の開催回数						
指標 独自指標	男女共同参画啓発出前講座受講者数	人	目標	400	400	400	500	600
			実績		189	359	389	585
		達成率(%)	0.0	47.3	89.8	77.8	97.5	
指標の説明		推進委員による出前講座の受講者数						
指標 独自指標	審議会等に占める女性委員率	%	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
			実績		31.0	30.5	31.5	30.0
		達成率(%)	0.0	77.5	76.3	78.8	75.0	
指標の説明		男女共同参画推進計画に掲げる女性委員登用の目標（31年度末）						
指標 独自指標	女性のいない審議会・委員会等の解消	数	目標	0	0	0	0	0
			実績		5	6	7	8
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		男女共同参画推進計画に掲げる女性委員登用の目標（31年度末）						
指標に基づく評価		男女共同参画推進計画（24年度改定）に掲げている目標「審議会・委員会等委員への女性登用率40%以上の審議会等」は、目標に到達していません。女性委員のいない審議会・委員会等の解消については、年々減少の傾向にあり女性委員0の解消に努めています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 男女共同参画推進委員会の委員による啓発活動や出前講座など積極的に取り組んでいますが、地域での啓発推進が進んでいないのが現状です。 庁内の審議会等の女性委員の登用については、登用率40%には及んでいませんが、年々女性の参画が増えてきており、女性委員のいない審議会等も減少傾向にあります。
これまでの見直しや改善等の実績	30年度から地域での推進を促進するために、23の全てのまちづくり協議会地区からパイプ役として男女共同参画推進委員を選任し、まち協総会や区長会などで男女共同参画についての関心や理解につながる事業に取り組みました。 庁内の審議会等の女性委員の登用については、全所管課へ改選時における女性の登用について積極的な取り組みを依頼し、女性委員登用の推進に努めました。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	男女共同参画推進事業	継続	男女が性別に関わりなくあらゆる分野で個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修会の開催、地域などへの推進啓発活動に取り組み、市民への意識の醸成を図るなど、男女共同参画社会の実現を目指します。
	女性活躍推進事業	継続	働きやすい職場と女性の力が最大限に発揮できる社会の実現を目指して、市内で働く女性リーダーやさまざまな分野で輝く女性を応援・支援します。また、仕事と家庭の両立に対する上司・同僚の理解を進め、すべての人がともに働きやすい職場環境づくりを促進するために、市内企業のイクボス推進・普及を図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性		
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	3	女性の活躍推進	施策	3-2	男性の家事・育児への参画の促進
	施策項目	(1) 男女共同参画意識の啓発				
実施事業名 (小事業)	男女共同参画推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	◆男女共同参画推進事業 ①男女共同参画啓発講座における推進委員の気づき 30年度から、地域のパイプ役として23の全てのまちづくり協議会地区から委員を選出し、まち協総会や区長会などで男女共同参画についての関心や理解につながる事業に取り組みました。その結果、次年度初期の地域のまち協行事や区長会への出前講座の依頼につながりました。地道な活動によって地域の男女共同参画が徐々に進んでいくことが期待されます。 ②男女共同参画啓発(図画、ポスター、川柳募集) 29年度からは実施していません。					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	08	男女交流促進費
大事業	051	結婚サポート事業			中事業	01	結婚サポート事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進			女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-1	結婚支援の充実			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
未婚率の上昇・晩婚化が進む中、男女の出会いの場を提供することを目的に、各関係機関と連携し出会いをサポートする。		
【事業の概要】		
○報償費	イベント講師謝礼	100 千円
○委託料	ライフデザインセミナー事業運営委託料	136 千円
	企業対抗運動会事業運営委託料	882 千円
	新たな出会い応援共催事業委託料	500 千円
○使用料	会場使用料	30 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■LINE等のSNSを活用した機会の提供 (単なる情報発信だけでなく、アンケートの実施など双方向でのやり取りによるサポートを実施する)</p>
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	1,648	1,243	2,683	405
	人件費	5,348	6,306	2,350	△ 958
	総事業費	6,996	7,549	5,033	△ 553
人員	正職員	0.80 人	0.90 人	0.35 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.80 人	0.90 人	0.35 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	441	92	87	349
	その他特定財源	0	76	75	△ 76
	一般財源	6,555	7,381	4,871	△ 826

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	情報提供SNS登録者数	人	目標	200	150	100	70	50
			実績		105	71	42	39
			達成率(%)	0.0	70.0	71.0	60.0	78.0
指標の説明		H29実績：SNS登録者数						
指標	結婚へのきっかけ創出の事業実施数	件	目標	25	25	25	25	25
			実績		21	16	8	3
			達成率(%)	0.0	84.0	64.0	32.0	12.0
指標の説明		計画期間内の累計 (H30：5件、H29：8件、H28：5件、H27：3件)						
独自指標	イベントなどの参加人数	人	目標	300	300	300	300	300
			実績		285	575	477	140
			達成率(%)	0.0	95.0	191.7	159.0	46.7
指標の説明		個別サポート、交流イベントなどの参加人数						
独自指標		回	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		SNS登録者数は、伸び悩んでいます。きっかけ創出の事業実施回数が増えたにもかかわらず、参加人数が減少しましたが、多くの参加者が集まるよう内容を検討していく必要があります。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	定員オーバーのため抽選となるなど、イベントへの参加希望を多くいただいています。また、ほぼ毎回数組のカップルが成立しており、新たな出会いの場を提供できていると考えます。しかし、男性参加者の常連化や、成立カップルの成婚への後追い調査ができていないことなどの課題があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	婚活イベントに抵抗のある独身者の声から、婚活への心理的ハードルを下げ、より自然な出会いの場を提供することを目的に、企業対抗運動会を開催しました。一企業の枠を超えた出会いの場を提供するとともに、運動を通して事業所内のコミュニケーション向上を図ることもできました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	結婚サポート事業	継続	未婚率の上昇・晩婚化が進む中、男女の出会いの場を提供することを目的に、各関係機関と連携し出会いをサポートします。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-1	結婚支援の充実
	施策項目	(2) きっかけづくりの支援				
実施事業名 (小事業)	結婚サポート事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>◆結婚サポート事業</p> <p>①婚活イベント参加者への気づき</p> <p>平成30年度は、これまでの婚活イベントに加え、出会いは求めているが、婚活イベントには抵抗があるという独身者の声から、婚活への心理的ハードルを下げ、より自然な出会いの場を提供することを目的に、企業対抗運動会を開催しました。これまでの婚活イベントでは見られない若年層の参加者数が非常に多く、若年層への出会い創出につながっていると感じます。また、職場の縁結びさん・地域の縁結びさん・婦人福祉協議会の協力を得てイベントを実施することにより、イベント後の成婚数把握を期待します。</p>					